

HTK 通信

通巻 1412 号(1989 年 4 月 6 日第 3 種郵便物承認)
 2018 年 12 月 11 日 NO. 415 毎月 1、11、21、25 発行
 発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会
 編集 特定非営利活動法人広島県手話通訳問題研究会
 〒732-0052 広島市東区光町 1-11-5-508
 電話(082)568-6770 FAX(082)568-6771
 HP <http://hirotsuiken.com/>
 e-mail hirotsu-ken@nifty.com

2018 年 12 月の通信

- p.1 中国5県で連絡会議情報交換
 リラクゼーション リフレッシュ
 P2 伝承班 手話で被爆体験
 p.3 手話通訳フォーラムから 報告感想
 p6 医療班からこんにちは
 p.7 中部ブロックの活動
 p8 東部ブロック学習会 N-アクション合宿
 p.9 ローリングストック術2 お知らせ各種
 p.16 カレンダー

中国ブロック連絡会議

理事長 宥免千英子

11月24日(土)山口県聴覚障害者センターに於いて、今年度2回目の全通研中国ブロック連絡会議が開催されました。

今年度の中国ブロックの行事は、7月に岡山で中国地区合同研修会、11月に山口でリラクゼーション講座がありました。そして来年1月に岡山で研修会があります。

更に来年度の中国地区合同手話研修会は、9月に広島県三原市で開催されます。ぜひ、中国ブロックの行事にご参加ください。

その他、各県の手話言語条例制定の動きや、ケイワン予防につながる健康対策について

等々の情報交換をしました。災害時に組織的に安否確認をするなど、広島でも参考にしたい取り組みもありました。県が違えば活動内容も様々だと感じますが、良いところを取り入れて、広通研の活動を充実させたいと思います。

リラクゼーションで

リフレッシュ

理事 松本悦子

11月25日(日)山口県聴覚障害者情報センターで開催のリラクゼーション講座に広島県から二人参加しました。

講師はヘルスケア・トレーナーの井手政子先生で午前は時々ストレッチをはさみながらの講義でした。

健康の3原則＝運動・栄養・

睡眠及び休息のうち運動の必要性について再確認しました。



「マイオカイン」をご存知ですか？筋肉に運動刺激を与えると分泌される身体を守る有益なホルモンで現在50種以上知られています。それぞれのホルモンが情報交換し、補いつて健康を保っているそうです。マイオカインは自分の力で身体の中で作り、増やして筋肉や骨を作り、炎症を抑え免疫力を上げ、脂肪を減らします。この働きは、特に下肢の運動で効果を発揮するので、大腿部の筋トレや有酸素運動がポイントになるそうです。

使われない機能は衰えすべて退化していきませんが、運動すれば年齢に関係なく筋肉や神経細胞は活性化していきます。運動の継続は筋肉の質を維持しながら身体の衰えを抑制するそうので病気の回復や体力の維持・増進等に効果大です。

健康で細胞が生き生きするためには運動をするしかないそうです。ここでいう運動とは、ゆっくり伸びきるころまで伸ばしていく事です。

午後は
実技でほとんどの
方が2回
以上の参加者だったので「今



までのはまだ入り口。ストレッチを始める前の準備体操のよなもののよ」と基本の動きと応用のストレッチも教えていただきました。

(右写真の説明)



仰臥位で右膝を曲げ足先は腰の横につけて置く。左踵で右膝を押える。右前側の筋肉が一気に伸びていくのが分かりました(紙面での説明は難しいので直接聞いて下さい)

一日かけて全身を伸ばし筋トレもしたので、すっきりして広島に帰って来ました。また気持ちを新たにストレッチを続けようと思います。

手話で被爆体験伝承

伝承班 横上周子

今年も残り少なくなりました。七月の豪雨災害で亡くなられた方にお悔やみと被災された方にお見舞いを申し上げます。

毎年八月六日に行われる広島平和祈念式典に、交通が寸断されているため今年は参列を取りやめる団体があることをテレビのニュースで知りました。

最近是被爆者も高齢になり慰霊祭に参列する人数も減っているためか、二、三年前から私にも慰霊祭に参列の案内状が届きます。

73年前私たちは東観音町で被爆しましたが、母の兄一家は舟入町(爆心地から八〇

〇m)で被爆し、八月六日から九月七日の間に五人が次々と亡くなっています。残った従兄弟もガンで早死にしています。いま88才の従姉妹がガンで闘病生活をしています。

なんの予告もなしにいきなり原子爆弾が落とされ、体が溶けたり、生き延びても原爆症になったりして、その人の人生が変わってしまいました。戦争は悲惨なことです。

9月12日の中国新聞で歴史研究家佐伯晴将さんの「満州事变当時寄贈の慰問作品介绍」という記事を目にし、関心を持った私は己斐公民館へ出向きました。

内容は「ヒノマル」「尽忠報国」と力強い筆致の書道作品、己斐駅を通過する軍用列車を市民が見送る絵、作文には

「お国の為に尽くしたい」「満州事変をまねて戦争」などをしています。「名誉ある戦死」などと書かれた詩もあり、子どもが軍国主義の影響を強く受けていたことが分かります。

佐伯さんは「身近な地域史の一幕として次世代に伝えたい」と話されていた。貴重な資料なので伝承班の皆さんにも見て頂きたいと思います。

また那須正幹さんは『ズッコケ三人組』の作者で有名ですが『ヒロシマ』三部作、『歩きだした日』『めぐりくる夏』等々、そこには教科書では教えてくれない、史料にも綴られていない戦後があり、悲しみや苦しみを乗り越えて明るくしたかに生きる人たちを描いている。彼らとは広島市立己斐

小学校、第72回卒業生です。

原爆投下時は年齢も2才半ぐらいで、はつきりした記憶はないと思います。でも二度と戦争を起さずにはいけなると二人とも訴えています。

私も伝承班の一員として修学旅行で広島を訪れるろう学校の生徒さんに、村田ヨシエさんの「原爆はダメです、戦争はダメです、平和がよい」という思いを伝えられたらいいと思います。

手話通訳フォーラム

11月10日～11日の2日間、廿日市市あいプラザで開催された手話通訳フォーラム2018は100名を超える参加がありました。いただいた報告や感想をご紹介します。

講演 亀田明美さん

◇ 西部ブロック 大村宣枝

講師の亀田明美さんは、白いシャツと黒のパンツスーツをシャキッと着こなし、参加者の興味を巧みに引き出しながら、スタイリッシュに手話の魅力を語られました。

亀田さんは、標準手話確定普及研究部の中国班のメンバーです。新しい手話がどのように作成されているのか、作成に関わるご自身の活動、クイズ形式による手話単語のいろいろを教えてくださいました。

新しい手話は次のような流れで作成されるそうです。まず、課題の日本語を全国の各9班で考え、動画を京都・全国手話研修センターに送りま

す。本委員会で検討され、ホームページで発表し、パブリックコメントを募集します。改めて再検討後、確定されること。是非、検索してみてください。詳細がわかります。

亀田さんは、もともと興味があつて委員依頼をすぐに受け、大変な作業も頑張つて取り組まれているそうです。中国班のメンバーは、丸一日かけて課題を検討して提出するのですが、採用されることは少ないそうです。

魚の名前を説明の際に、「今夜のおかずは『ほっけ(指文字)』よ。」ではなく手話(両手平を合わせた状態から両親指側を開く)で会話した方が楽しい、手話の名前があれば魚も嬉しいと言われ、「なんてチャームिंगなの!」と思

ました。

四字熟語の話もありました。先日、所属する手話サークルで四字熟語を学習したばかりだったので、より興味を持って話を聞く事が出来ました。「馬耳東風」「一石二鳥」を意味する手話を、昔からろう者は使用しており、保存手話となつています。標準手話確定普及研究部は、日本語を使う人と手話を使う人をつなぐ仕事をされていると気づかされました。

亀田さんは、「使わない手話単語は忘れてしまう」そうです。手話を第一言語とするろう者がそうなのであれば、私が意識して使わなければ、忘れてしまうのは当たり前！？

伝えつがれてきた手話を大

切に思う熱い心や、魅力的な手話に惹きこまれ、あつという間の2時間でした。

亀田さんは通研のフォーラムに初めて参加されたそうです。交流会、2日目の分科会にも参加してくださいました。楽しかった！とのこと。ありがとうございました。12月8日の「平和と手話通訳を考える集い」にも参加される予定だそうです。皆さんも是非、集いに参加しましょう。

馬耳東風…右の人差し指を右耳に引き寄せ、左人差し指(左耳に向けている)を左耳から離す

一石二鳥…体の前に伸ばしている開いた両手を、つぼめながら素早く手前に引き寄せる

記念講演を聞いて

◇ 参加者 平岡信江

講師亀田明美氏。亀田さんは先天性聾啞で1級。趣味は推理小説を読むこと、ミニマリスタを目指して活動中掃除大好きスタイル抜群な方です。

手話はろう者の集団から生まれ発展してきた目で見る言葉で絶対に必要なコミュニケーション手段です。しかし三省堂国語辞書に載っている言葉は25万語余りですが、手話単語は一万千語余りだそうです。

現在新しい手話単語が作られていて1年間に200語位作られているそうです。

京都の手話研修センター内の日本手話研究所でろう者3名聴者1名9班で作業を行っているとの事。

新しい手話単語を作る仕事は本当におもしろそうだなと思いました。

豊かな手話で会話が出来る様になるのが楽しみです。※「ミニマリスタ」：最低限必要なものしか持たない人。

◇ 参加者 松脇尚子

手話言語が1万というのを初めて知りました。日本語の数に比べてとても少ないと思いました。新しい手話の表現が確定されるまでの大変さを感じました。

手話はろう者にとっても大切な言葉です。新しい手話言語がふえれば指文字を使わなくても、もつとコミュニケーションがスムーズにできる様になると思いました。

第二分科会

「心がかったの健康」

南部ブロック 山本政子

「元気でいきいき 手話通訳活動を」

一日目は河合さんの話を聞いた。自分の手話通訳に対する認識の甘さにシヨックを受けた。話の中で印象的だったと。「手話通訳は労働である」「元気で手話通訳をすることはろう者への情報保障につながる」という言葉だ。自分の中では、手話通訳はボランティアでも労働でもなく「手話通訳」という独立したものだ。私のような考え方ではないが、登録通訳者は『手話通訳が労働』と考えていない人が多い。国も労働とは認めていないので源泉徴収しない。また、手話通訳者の頸肩腕障害が労災としてなかなか認めてもらえないのも、労働として認め

てもらえないからだ。

話の中で色々な職業で例を示してもらい、手話通訳者はどうなのかを考えた。健康問題は個人では解決できない。制度として通訳者が病気になるような雇用主に要求できるようにするのが大切。

今回の学習は地域でも是非開催したい。個人でなく集団として取り組むべき問題だと再認識した。

「リラクゼーション実技」

二日目はストレッチと簡単な筋トレを教わった。松本理事、神辺理事の名コンビで、笑いのたえない楽しい雰囲気からだと心のこりがほぐれた感じだ。ストレッチに関しての基本的な話を聞いて実践へ。「他の人とは比べません。ストレッチ前と後の自分を比べま

す。」と言われたが、私のからだは思った以上に固かった。関節周りの筋肉が固まってしまう動いていない感じだった。ストレッチの途中で、痛みがあったりできないことも多かった。その都度、講師と参加者からアドバイスをもらったことが、とても嬉しかった。

自分の健康に無関心ではないけれど肩こりや腕の痛みは仕方ないと思っていた。しかし、これは間違っていると反省した。痛みがあるから動かさない。運動する習慣もない。これでは、何も変わらない。目が覚めた感じだった。

痛みを感じない程度に、自分に合わせたストレッチを続けることが大切。松本さんの優しい言葉で、今回はがんばってみようと思った。

本当に有意義な二日間だった。講師のみなさん、佐伯ブロックのみなさん、ありがとうございました。

第3分科会

西部ブロック 岡田澄子

地域のろう者の話を聴こう スポーツの世界 1日目

野地隆弘さんのお話です。若い頃からずっと野球を続けてこれ、休日は練習か試合であちこちを飛び回るといふ生活だったと話され、試合には2人の子供さんと奥様も応援に行かれていたそうです。奥様の支えがあつてこそ続けてこれたのでしょうね。野地さんのお話しは99%勝てないと言われるような強豪チームに勝った話し等、元気で迫力のある手話にぐいぐいひきこ

まれました。

平成17年に引退された話しは、ついこの前のような話しぶりでした。野地さんの迫力が伝わる読み取り通訳はすばらしくとても勉強になりました。またぜひお話しを聴きたいです。ありがとうございました。

◇ 佐伯ブロック 向井順子

手話を学び始めて十周年ですが、初めて参加しました。

二日目の分科会「卓球は障害に関係なく心を結ばせる」

は、時間の半分を使った質問タイムで若い人達が卓球を通して生き生きと過ごしている様子がわかりました。

ダブルス・シングルス・カットマンなど色々な卓球の知識と手話を覚えました。

スタッフの皆様ありがとうございました

いました

第4分科会 「制度と人権」

◇ 南部ブロック 背戸慶子

私が、この分科会に参加したいと思った理

由は、2017

年12月20日

「福山市」ころを

つなぐ手話言語

条例」が広島県

内で初めて制定

され、今年7月1日には、廿

日市市で「廿日市市手話言語

の普及及び多様な「コミュニケ

ーション手段の利用促進によ

るやさしいまちづくり条例」

が制定され、条例が出来るま

での取組みなど色々な話を聞き

たいと思つたからです。

佐伯地区ろうあ協会会長

の池本さんから運動の様子



説明がありました。

2013年に鳥取県が全国で初めての手話言語条例を制定しましたが廿日市市では廿日市ろうあ協会と手話通訳者との会(連協)で話を進め、

廿日市身体障害者の連絡会

との協働で要望を出したので、

福山市のように手話言語条

例ではなく、コミュニケーシ

ョンと合わせて作りたいとい

う事で、手話言語および「コミュニ

ケーション条例になつたそう

です。(例、難聴の人は筆談がよ

い場合がある etc)

条例が作られた後は市の職

員の勉強会で、ろう者自身

話をしたり、受付業務で体験

してもらつた利した結果、対

応がやさしくなつた。

その他、小学4年生を対象

に手話言語条例についてのお

話と、出前講座で「手話は命なんだ」と小学校で話をされたそうです。この「手話は命なんだ」という言葉がすごく心に響きました。

福山市では手話サークル、

ろうあ協会で、市の職員の研

修、小・中学校への出前講座で

簡単なあいさつを教える。ま

た、福山市の公報に簡単な手

話が掲示され、QRコードを

かざすと動画が見られる。小

学校の副読本に聴覚障害や

「手話について」掲載があるそ

うです。

どうして条例がすばらしい

かというと、条例があると途

中でやめるとそれは違反する

ことになる。

次に何をするか、将来に向

けてどんな社会にするか。

みんなが住みやすい社会に

する為にはこの条例は意義の深いものであり、早く日本全国どの町にもこの条例が出来、住みやすい社会になるよう、みんなが笑顔で生活できる世界になるよう願ってやみません。今日一日この勉強の機会を与えて頂き感謝していただきます。

スタッフとって

◇ 佐伯ブロック 住吉美穂
今回フォーラムは廿日市（佐伯ブロック）が担当でしたので実行委員として初参加しました。何度も実行委員会が開かれ、話しをしたり、過去のフォーラムや他のブロックでのフォーラムを参考にしたり等開催までの準備や過程を知り、その大切さを感じました。

当日は第1分科会を担当。これまでに何度もフォーラムを経験された先輩方の分科会内容や流れの作り方、進め方から多くを学びました。

またアイラブ作業所の販売ブースで販売でき、皆様にクッキーやレバックコーヒーを買っていただきました。アイラブ作業所の仲間も亀田さんの講演を楽しみに参加しており、販売ではあたたかい言葉と共にいくつかの商品が完売。とてもうれしい時間になりました。ありがとうございました。

第20回 東広島健康福祉まつりに参加して

中部ブロック 竹田真弓
平成30年度 第20回東広島健康福祉まつりが11月4

日、東広島市総合福祉センターで行われ、広通研中部ブロック医療班で参加しました。広通研医療班の紹介と先日行われた講演「日本のがんの現状」、内臓の仕組みのイラスト、内臓の模型などを展示し出版物の紹介などをしました。

スタンプリーもなく、体験も特にないから見に来られる人は少なかつたですが、家族で来られて身体の臓器のクイズに答えて戴いたり、病院の職員の人々が来られて、「手の出来る職員が1人います。」と言われていたり、寄付も頂けました。福祉関係者の人達は何人か「わたし達の手話学習辞典」を持っている人が多いようですが、活用されていないようなので、サークルに

お誘いしました。

少しずつでも地域での情報提供や情報交換が出来ていたらいいなあと思いました。

毎年人気の健康ゾーンは人も多く、皆さん健康チェックや相談をしたり、豆運びに最高齢の人が成功して喜び意気揚々とされました。私も認知症検査やパズル合わせなどして楽しみました。

今年は手話関係者は学習会などと重なって参加が少なかつたですが、他の団体と話しができたし一般の人に声もかけられるので、また機会があれば生涯学習フェスティバルとの合同開催も希望しながら参加してみたいと思います。

「非常時の調理とローリングストック術」

西部ブロック 汲地咲枝

ローリングストックとは何でしょうか。

それは普段から少し多めに食材を買い、使ったら使った分だけ買い足して、常に一定量の食材を家に備蓄しておく事です。

食材を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができます。

今回は非常時の調理法なので、牛乳パックを平に切り開いたものを、まな板がわりにしてピーラーとキッチンバサミを使って食材をカットしました。一枚重ねたビニール袋の中にカットした食材を入れ、

優しく揉んだ後に空気を抜

いて袋の上方で固く結びます。そして、湯を沸かした鍋に入れて30分くらい加熱するだけなので、誰でも簡単に調理できる方法だと思います。

出来上がったら袋をハサミで切り、紙皿に盛りつけて食べるができます。

作ったメニューは炊き込みご飯、蒸しパン、オムレツ、切り干し大根サラダ、フルーツ寒天の5品で、非常時の調理とは思えないくらいバランスが良く、簡単に美味しい料理ができた事に驚きました。

調理方法を教えてくださいました方々は、広島女学院大学食育サークルの皆さんです。

ピチピチとした笑顔の可愛い学生さんたちと一緒に調理しながら色々なお喋りもでき、とても楽しい時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。

医療班からこんにちは

西部医療班 植田明美

2018年、平成最後の年末を迎えようとしています。寒さも本格的になってきました。

医療班の大きな行事である「医療関係者対象手話講習会」が、ようやく終了しました。

今年は、中区の地域福祉センターの会場の確保が難しく、延びに延びて11月15日によ

うやく終わりました。今年の受講生は12名で、皆さん熱心に受講されたものの最後は8名と減ってしまいました。

今年は、手話の初心者と、手話を少しは知っている人が半々くらいで、はじめは表現力に違いがありました。終りに近づくにつれ工夫がみられ、伝えたいと言う気持ちを手話に表れてくるようになりました。この気持ちを現場でも忘れないようにしていただきたいものだと、心から思いました。

今年の受講生はおとなしくて反応が少なく、わかっているのかなと疑問に思ったりした時もありましたが、ちゃんと読み取れていたり、表現があまりいいなと思っていたら自分なりに工夫した跡がみられた

りと、教える側も勉強になった7ヶ月間でした。

12月2日には集中講習会があります。この講習会の卒業生が対象で、もうベテランの方もおられるのですが、初級者、中級者にわけて、実施しています。

少ない受講生のなかから、2人ほど医療班に入っても良いかなど思ってくださいてる人がいて、ぜひ入会して欲しいと思います。昨年は一人も入ってもらえなかったのをそのやる気を大事にしたいなと思います。

また来年は、中国ブロック合同研修会の医療部会を担当するとのことで、テーマを何にするか先日の定例会で話し合いました。

来年5月に入れば恒例の

「医療関係者対象手話講習会」が始まり、中国ブロックへ

向けての準備が難しくなりま
すので、早めの準備と言っ
ました。12月の定例会までに
資料を持ちより、決めること
になりました。生活習慣病の
糖尿病といえばもう一般に周
知されているように思います
が、わかっているにも自覚症状
がないため手遅れになり合併症
に苦しむ人も増えています。
高齢化するなか、いかに健康
寿命を延ばすかが課題になっ
ています。

ガンも生活習慣病も早期
発見すればこわいものではな
くなってきており、癌は、切り
取る、抗がん剤を飲む、放射
線治療をするなど、苦しいに
はちがいないけれど希望があ
ります。

しかし、生活習慣病は、わ
かっているも自分が今までの習
慣をかえないと完治しないと
いう面倒さから自覚症状が深
刻なものになるまで放ってお
くという事になりがちです。

聴覚障害者の方々も糖尿
病の事は知っているという方
も多いと思いますが、本当に
怖さを知っていますか？

目に見えない事を理解し、
実行していく難しさを実感し
てもらって一人一人が、自分
の健康に気をつけられるよう
なテーマが見つければ良いな
と思います。

今年の西部医療班の活動
の報告でした。

屋の学習会

東部ブロック 松本邦子

11月17日(土)、東部屋の
学習会に参加しました。最初
はウォーミングアップの指文字
練習。両手で《もみじ》の歌を
表わしました。

次は、目、靴、値段、山、合
格率等に「たかい」をつけて、
置き換えの学習。お互いに相
談しながら工夫して表現しま
した。

最後は、短文を表現する
人と読み取る人にわかれて、
内容がきちんと伝わったかど
うか、手話の基本ともいえる
学習でした。

難しい文章もあり大変でし
たが、充実して試みてみっちり勉
強出来ました。楽しかったです。

組
織
部
三
一
八

2019 年度 **広島県手話サークル連絡協議会**

一泊研修会&総会のご案内

テーマ **手話の輪を広めよう**

日 程：2019 年 **3 月 23 日(土)13 時**～**3 月 24 日(日)12 時**

会 場：総会・講演会など 尾道市総合福祉センター(尾道市門田町 22-5)
交流会 グリーンヒルホテル(尾道市東御所町 9-1)
宿泊 尾道第一ホテル(尾道市西五所町4-7)

記念講演：テーマ「私の歩いてきた道」

講 師 **竹島 春美さん(高知県聴覚障害者協会会長)**

分科会：第 1 分科会「入門」Let's 手話ベリ(れっつ おしゃべり)

第 2 分科会「サークル活動」資料！語ろう！考えよう！

できることから始めよう！～いつ起こるかかからない災害に備えて～

第 3 分科会「ろう者の話を聞こう」 人生いろいろ。

参加費：講演会及び分科会 2,000 円(加盟団体会員) 3,000 円(非会員)

交流会 5,000 円

宿泊(朝食込み) 9,000 円

全日程参加 11,000 円

申込締切：2019 年 1 月 20 日

詳しくは、各サークルまたは広通研事務所にお問い合わせください。

第 4 回 N-Action 合宿の開催について

日時：2019 年 **2 月 16 日(土)13 時**～ **2 月 17 日(日)15 時**

会場：ピュアリティまきび(岡山県岡山市)、きらめきプラザ(岡山県岡山市)

申込は直接全通研本郡へお願いします。参加対象：次世代会員

お問い合わせ

一般社団法人全国手話通訳問題研究会

中部ブロック 『研究誌を読む会』 開催のお知らせ

暖冬の年、平成最後の年。皆さんはどんな1年を過ごされましたか？
さて、通信12月号とともに研究誌146号2018年冬号が届きましたか。
特集は、「ろうあ者の権利」、連載記事「ことばの砂場は、最終回となっています。皆さんはどんな記事に惹かれましたか？どの記事が一番に読みましたか？
お忙しい毎日だと思いますが、読む会を 下記の日程で、企画しました。
一緒に読みましょう。ご参加ください。

記

1. 日 時 **2019年1月17日 (木) 午後7時～9時**
 2. 場 所 東広島市高屋西地域センター
 3. 参加費 会員 無料(当日入会できます) 未会員 500円(お誘いチケット有)
 4. 持参物 研究誌 146号 2018年冬号
- 問合せ先 中部ブロック 竹内 (FAX 082-434-3586)

第4回 全通研アカデミー～全通研学校Ⅲ～ 九州会場

開催日時：**2019年1月26日(土)14時00分 ～ 1月27日(日)15時30分**

会 場 :くまもと森都心プラザ

対象者 :全通研会員

参加費 :1,000円(当日、会場受付にてお支払いください)

宿泊が必要な方は各自で手配をお願いします。

申込締切:2018年 **12月28日(金)**

参加申し込みは広通研事務所をお願いします。申込書あります。

講演内容:

第1講座…2019年1月26日(土)14時30分～16時30分

「明石市の手話言語・障害者コミュニケーション条例の取り組みについて」

講師 金 政玉 氏(明石市福祉局生活支援室障害福祉課共生福祉担当課長)

第2講座…2019年1月27日(日)10時00分～12時00分

「憲法とろうあ者の生活」

講師 田門 浩 氏(弁護士)

ブロック企画…2019年1月27日(日)13時00分～15時00分

「遠隔手話通訳と電話ルー一通訳」

講師 宮澤 典子 氏(一般社団法人全国手話通訳問題研究会理事)

カレンダー 2018年12月号通信

12/12 水	伝承班 伝承活動	広島市平和資料館	14 時 15 分～
13(木)	手づくりの会	手話センターひろしま	10 時半～12 時
"	中部ブロック医療班学習会	東広島市総合福祉センター	19 時～21 時
15(土)	自主学習会	手話センターひろしま	10 時～12 時
"	東部ブロック昼の学習会	福山市市民参画センター	13 時半～15 時半
"	西部ブロック土曜夜の学習会	手話センターひろしま	18 時半～20 時
17(月)	月曜朝の学習会	手話センターひろしま	10 時半～12 時
18(火)	伝承班 学習会	手話センターひろしま	19 時～21 時
19(水)	東部ブロック夜の学習会	福山市市民参画センター	19 時～21 時
20(木)	中部ブロック昼の学習会	東広島市総合福祉センター	10 時～12 時
21(金)	中部ブロックビデオを見る会	東広島市高屋西地域センター	19 時～21 時
27(木)	中部ブロック医療班学習会	東広島市総合福祉センター	19 時～21 時
1/10(木)	中部ブロック医療班学習会	東広島市総合福祉センター	19 時～21 時
12(土)	理事会・運営委員会	手話センターひろしま	10 時～12 時
"	コミュニティ通訳勉強会	手話センターひろしま	13 時半～15 時半
17(木)	中部ブロック研究誌を読む会	東広島市高屋西地域センター	19 時～21 時
19(土)	中部ブロック冬の交流会	西条駅周辺	19 時～21 時
28(月)	佐伯ブロック ろう者の話を聴こう	あいプラザ	19 時半～21 時
2/2(土)	理事会	手話センターひろしま	10 時～12 時
"	コミュニティ通訳勉強会	手話センターひろしま	14 時～16 時
23(土)	広通研 講師研修会	東区地域福祉センター	13 時半～16 時半
24(日)	広通研 通訳者研修会	東区地域福祉センター	10 時～14 時

関連団体の行事

3/23(土)	県手連一泊研修会	尾道市総合福祉センター	13 時～
24(日)	"	"	9 時半～12 時

HTK (通巻 1412 号) 通信 415 号
 発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会
 編集 特定非営利活動法人
 広島県手話通訳問題研究会
 広島市東区光町 1-11-5-508
 電話 082-568-6770
 FAX 082-568-6771

年間購読料 2000 円(一部 200 円)正会員の購読料は会費に含む

